

昭和51年台風17号による土砂災害 (那賀町木頭北川平地区)



昭和58年台風10号による白川谷川の氾濫と土砂災害 (三好市山城町白川地区)



平成16年台風10号による土石流災害 (那賀町白石地区)

平成30年度  
第36回

# 土砂災害防止 全国の集い

土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！  
過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える

in  
徳島

本催事は下記の認定講習です

CPD・CPDS・徳島県立総合大学校防災減災学部講座

基調講演

『近年の災害を振り返り、その経験を今に活かす』

講演者 中野 晋 (徳島大学教授 環境防災研究センター長)

パネルディスカッション

土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！

～過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える～

コーディネーター 松本 浩司 (NHK解説委員)

後援

内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、(一社)日本新聞協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(NPO)土砂災害防止広報センター、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、(一社)斜面防災対策技術協会、(一社)建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、(一社)徳島県建設業協会、(一社)徳島県測量設計業協会、四国地質調査業協会徳島県支部、(一社)建設コンサルタンツ協会四国支部、徳島県治水砂防協会、徳島県地江対策期成同盟会、徳島県市長会、徳島県町村会、四国山地砂防ボランティア協会、徳島県砂防ボランティア協会、徳島県自主防災組織連絡会、(公財)徳島県消防協会、徳島新聞社、四国放送(株)、(株)エフエム徳島、エフエムびざん、ケーブルテレビ徳島(株)

日時

平成30年 6月6日 水 13:00～17:00

会場

あわぎんホール(大ホール)

主催

国土交通省、徳島県

問合せ先

「全国の集い」運営委員会事務局(徳島県砂防防災課内)  
(電話) 088-621-2541

ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。

みんなで防ごう土砂災害  
土砂災害防止月間  
6/1→30  
かけ崩れ防災週間 6/1▶7

# 平成30年度(第36回)土砂災害防止「全国の集い」プログラム

本催事は下記の認定講習です  
CPD・CPDS・徳島県立総合大学校防災減災学部講座

## 6月6日(水) 土砂災害防止「全国の集い」

連携行事 (午前中)	平成30年度砂防ボランティア「全国のつどい」	あわぎんホール(5階小ホール)
	平成30年度徳島県砂防工事施工技術等連絡会	あわぎんホール(4階2~4)

12:00 ■開 場 (ドアオープン) / あわぎんホール徳島県郷土文化会館 (大ホール)

■ポスターセッション「全国からのイチオシ土砂災害対策 事例報告」

13:00 ■開会式典 (50分)

- ◎挨拶: 国土交通大臣、徳島県知事、吉野川市長、来賓 (国会議員等)
- ◎土砂災害防止功労者表彰式

13:55 ■基調講演 (60分)

『近年の災害を振り返り、その経験を今に活かす』

講演者 中野 晋 (徳島大学教授 環境防災研究センター長)

(休憩30分)

■ポスターセッション「全国からのイチオシ土砂災害対策 事例報告」

15:25 ■パネルディスカッション (90分)

『土砂災害を迎え撃ち、助かる命を必ず助けるために！  
～過疎化・高齢化を見据え「土砂災害対策」を考える～』

- コーディネーター 松本 浩司 (NHK解説委員)
- パネリスト 瀧本 浩一 (山口大学大学院 創成科学研究科 准教授)
- 奥田 博子 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官)
- 福浦 茂 (那賀町消防団木沢地区筆頭副団長)
- 藤本 仁司 (美馬市企画総務部危機管理室長)
- コメンテーター 栗原 淳一 (国土交通省砂防部長)
- 発議者 山名 剛 (徳島県砂防防災課長)

17:00 ■閉 会 挨拶: 徳島県政策監補

18:00~19:30 意見交換会 JRホテルクレメント徳島

※出演者/プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。

本催事は下記の認定講習です  
CPD・CPDS・徳島県立総合大学校防災減災学部講座

## 6月7日(木) 現地研修会

A 午前コース

09:00 徳島駅周辺→09:50 茶園嶽(美馬市脇町 崩壊跡)→10:10 曾江谷川床固工(美馬市脇町 赤木先生ゆかり)→10:30 道の駅(藍ランドうだつ)→11:05 テレイク堰堤(美馬市脇町)→12:10 徳島駅→12:40 とくしま阿波おどり空港

B 1日コース

08:45 徳島駅周辺→10:55 善徳地すべり、今久保堰堤(三好市西祖谷山村 四国山地砂防事務所所管)→12:00 かずら橋夢舞台(三好市西祖谷山村)→12:45 大歩危岬まんなか(三好市山城町 昼食)→14:35 テレイク堰堤(美馬市脇町)→15:40 徳島駅→16:10 とくしま阿波おどり空港

※行程は変更になる場合があります。



善徳地すべり 排水トンネル



今久保堰堤



テレイク堰堤



曾江谷川床固工

### ■開催趣旨

徳島県は中央構造線の影響を受けた脆弱な地質が広がり、台風が頻繁に上陸するなど降水量も多いことから、古くから土砂災害の被害を受けてきました。このため、明治期におけるオランダ人技術者ヨハネス・デ・レイケの指導に基づく「大谷川えん堤」の建設や赤木正雄博士が従事した曾江谷川直轄砂防工事に始まり、昭和51年や平成16年に発生した激甚な土砂災害への対策など、国・県による砂防事業が今日まで進められてきました。一方、全国に目を転ずると、気候変動により各地で記録的大雨が多発し、南海トラフ地震も切迫の度合いを増しており、徳島県においても土砂災害のリスクが高まっていると言えます。これに加え、住民の被災体験の風化が危惧されるとともに、中山間地を中心に過疎化・高齢化の進行が著しく、地域防災を担う人材の確保や災害時要配慮者への配慮が求められています。

このような状況の中、土砂災害の危険性のある区域を明らかにする砂防基礎調査を平成28年度に完了させたところであり、今後は「的確な避難ができれば、すべての命が助かる」との確信のもと、土砂災害(特別)警戒区域指定の加速を図りつつ、自助・共助・公助のそれぞれが平時から備えを強化し、「土砂災害を迎え撃つ」姿勢で警戒避難体制を構築することが重要です。

本催事は、土砂災害から尊い命を守り、地域の安全を将来にわたって確保するため、徳島県で起こりうる土砂災害のリスクを改めて認識するとともに、さらに厳しさを増していく過疎化・高齢化を見据えたうえで、警戒避難体制を如何に構築し実効性を高めていくかについて意見交換を行い、今後の土砂災害対策の方向性を得ることを目的として開催するものです。



### 参加申込み要領

◎参加をご希望の方は、徳島県砂防防災課ホームページから申込書をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、FAX、e-mail又は郵送でお申し込みください。

徳島県砂防防災課ホームページ ※または、「徳島県砂防防災課」で検索してください。  
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/soshiki/kendoseibibu/saboubousaika/>

◎6月6日のメインプログラム(ポスターセッション、開会式典、基調講演、パネルディスカッション)のみ参加する場合は無料です。なお、当日受付も可能ですが、受付の混雑防止のため、事前申し込みをおすすめします。



◎意見交換会、現地研修会に参加する場合、下記の費用が必要です。必ず事前にお申し込みください。

6月6日(水) 意見交換会 ¥6,000(消費税込)

6月7日(木) 現地研修会 Aコース ¥4,300(保険料、消費税込)

Bコース ¥5,700(昼食、保険料、消費税込)

◎申込書による宿泊の事前手配も可能です。

◎メインプログラムのみ参加する場合を除き、別途通信手数料¥500を負担いただきます。

参加登録締め切り 平成30年5月11日(金)

《お問い合わせ先》

徳島県砂防防災課 電話088-621-2541  
担当: 三木、伊槻(いつき)

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。